


監事監査報告書

平成28年 5月23日

社会福祉法人 ライン工房
理事長 西 嶋 龍 文 様

監事 宮本孝則 

監事 田中健二郎 

私たちは、社会福祉法人ライン工房の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査をしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業の報告を求めました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち、資金収支計算書（資金収支決算内訳表を含む。）、事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表を含む。）、貸借対照表及び財産目録につき検討いたしました。

監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

社会福祉法人 ライン工房
理事長 西 嶋 龍 文 様

監 査 意 見 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度について監査致しました。監査内容につきましては適正に、また、合法的に処理されており何ら問題もございませんが、少し意見を申し述べます。今回熊本は大震災に襲われ、多くの方が被災され現在も避難生活を余儀なくされています。その中において社会的弱者の方がさらに避難所にも行けず不自由な生活を余震に怯えながらおくられているとの報道がありました。社会的弱者の救済のため平常のみならずこのような非常時における御社の役割にますます期待する所でありたいです。

平成28年5月23日

監事

宮本孝則

